

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第55号

2011年4月13日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo

au/ワトパンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



原発事故で、放射能への 関心が高まる！

3/13(日)のメンテナンス・シンポジウム(成功させる会主催)は、震災発生により、延期の意見もありましたが、福島第一原発の事故に関する内容を加えて開催され、約60人が参加しました。当日は、原発事故の深刻化が進行中で、休憩時間にテレビのニュースで情報収集を行いながらの、異例の集会となりました。

また、ヨコスカをよくする会原子力分科会は4/10に集いを開き、予想を大幅に上回る35人が参加、放射能モニタリングと今後の運動のあり方について話し合いました。横須賀では、3/15に空間放射線量が急増し、3/21頃からも上昇、現在減少傾向にありますが、一時は横須賀港内の海水線量が上がり、水道水からも放射性ヨウ素が検出されました。

東日本大震災義援募金行動を展開！

3/20のYデッキ宣伝は、当初春闘宣伝を予定していましたが、東日本大震災の未曾有の事態が発生し、松本議長の提案により、義援募金の取り組みに変更しました。

震災発生から9日が経過しており、また各団体が連日のように募金に取り組む中、十分な取り組みとはなりませんでしたが、8人で1時間の取り組みの中、18,205円の義援金が集まりました。

この日は、日本共産党の縦線後援会もロングラン募金行動を展開しており、横三労連が行動をした時間帯には、ひまわり後援会の皆さんが行動しておられました。

3/6には、暖かな日差しの中大通り公園で県民集会在開催され、2千人の参加者が、かもし勝利を誓いあいました(左下写真)。集会では、日航を解雇された方々の訴えが共感を呼びました。県知事選挙は、4/10投開票され、かもし候補は466,223票を獲得しましたが、及びませんでした。



うわまち病院労組、新歓に成功！

うわまち病院では、今年も40名ほどの新人が入ってきましたが、4/6に労働組合説明会を開催、11名が参加して、この日だけでも2名が加盟しました。また、都合が悪くて資料だけ持参された人も、20名近くいました。うわまち病院労働組合では、毎年組合説明会を計画していましたが、日程の設定などがなかなかうまく行かず、苦労していました。今年は、配属される職場が早くに決まり、配属される職場の先輩からの誘いに、友達と誘い合う中で説明会に多数の新人が参加されました。